



一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取り組みを市民に明らかにします。

※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。

3月定例会 質問者・質問事項一覧

高山 正信 議員 (P3)

- ①八女市の農業の現状について
- ②立花町光友地区のまちづくり（土地利活用）について

川口 堅志 議員 (P3)

- ①道路河川愛護活動の在り方について
- ②商工業の振興について
- ③公共施設の在り方について

森 茂生 議員 (P4)

- ①国民健康保険税について
- ②農業について

水町 典子 議員 (P4)

- ①水道事業の現状と課題について
- ②災害時に安心できるトイレ環境について
- ③資源ごみの分別回収について

久間 寿紀 議員 (P5)

- ①支所機能について
- ②山間部の林業について
- ③山間部の道路管理について

栗原 吉平 議員 (P5)

- ①都市交流事業の課題について
- ②岩戸山歴史文化交流館や南北朝の歴史的資産の活用について
- ③林野火災の防火対策について

石橋 義博 議員 (P6)

- ①公立八女総合病院について市の考えは
- ②令和8年度に新設される産業経済部について

牛島 孝之 議員 (P6)

- ①八女市の農業、林業に対する考えは
- ②八女市の企業誘致についての考えは
- ③八女市の教育問題について
- ④矢部川の洪水対策について

小山 和也 議員 (P7)

- ①有害鳥獣対策について
- ②プレミアム付き商品券について
- ③八女市全域の携帯電話の電波状況について

原田 英雄 議員 (P7)

- ①魅力ある教育・子育て環境の構築について
- ②安心・安全な飲料水の供給確保について
- ③八女茶の振興対策について

三角 真弓 議員 (P8)

- ①今後の地域医療の在り方について
- ②長引く物価高騰による市民生活への影響について
- ③地域猫への対応について

坂本 治郎 議員 (P8)

- ①循環型農業及びオーガニック推進の可能性について

高橋 信広 議員 (P9)

- ①人口減少対策について
- ②健康寿命の延伸について
- ③道路河川愛護について

花下 主茂 議員 (P9)

- ①行政DXの推進について
- ②一般国道3号広川八女バイパス事業について
- ③太陽光発電事業と地域環境の調和に向けた取り組みについて

古賀 邦彦 議員 (P10)

- ①災害対策について
- ②教育行政について
- ③高齢者運転免許証自主返納支援事業について
- ④公園整備について
- ⑤八女市公式ホームページの改善について

堤 康幸 議員 (P10)

- ①森林資源の活用策について
- ②中山間地域の優良農地保全策について



映像配信
サイト



国県補助による農地整備事業の地元負担軽減について、どう考えるか

市長 受益者負担の在り方を見極め、負担軽減も含め、土地改良の推進に取り組む

農業の現状について

議員 農地の生産性や作業効率向上の取り組みをどう進めるのか。

市長 地域計画を基に集約化を進めるとともに、多様な担い手確保で農地維持を図る。

立花町光友地区のまちづくりについて

議員 八女東部地域の活性化について将来像をどう描き、取り組むのか。

市長 東部地域の環境変化を踏まえ、地元と議論しながら、企業誘致など地域の発展を進めていく。

議員 立花義務教育学校の開校スケジュールは。



課長 基本計画に基づき

設計や用地確保を進め、令和11年度開校を目指す。

議員 義務教育学校体育館は中学校で必要な面積の規格を満たさない中、立花体育館の在り方をいつまでに判断するのか。

課長 立花体育館の利用状況を検証し、統合した新たな体育館の建設も含めて検討する。

議員 体育館の整備の方向性をいつ示すのか。

教育長 学校の特色や周辺体育館との調整を踏まえ、令和10年度から体育館整備基本計画を策定し、早期に方向性を示す。

道路河川愛護活動の在り方についてどう考えているか

市長 地域を聞きながら、効果的な在り方について検討する



映像配信
サイト



議員 道路河川愛護の担

い手不足についての考えは。

市長 人手不足が深刻であることは認識している。作業が困難な箇所等については、施設管理班や市の委託業者が対応している。

議員 道路維持管理、特に道路愛護の仕組みや在り方についての考えは。

課長 道路管理者のみでは対応は難しく、これまで同様に地域の協力をいただきたい。また報償金制度については、今後も実情に合った制度になるように努める。



清掃した河川

商工業の振興について

議員 商工業に対するDX推進の必要性をどのように捉えているのか。

課長 商工会議所や商工会が、IT人材育成や専門家派遣等に取り組んでおり、市も商工団体と連携して、IT化やDXの推進につながる取り組みを支援していく。

議員 商業者は昨年の碾茶(※)の高騰による流通の乱れによって、打撃を受けている。茶商や生産者など、関係者とのバランスが取れた政策が必要ではないか。

課長 輸出戦略と国内消費拡大の両面から、生産加工、販売と各段階のバランスの取れた政策を展開し、茶業界全体の持続的な発展が必要であると考えている。

※碾茶
抹茶の原料となる茶葉。



映像配信
サイト



国連で決議された「家族農業の10年」とは

市長 家族経営の農業を、国際社会が支援、強化していく期間である

国民健康保険税について

議員 国保税が高い原因は、国の負担率が以前は50%であったが、現在は25%に減少したためである。元の負担率に戻すべきである。あるノンフィクション作家は「食費を1日700円まで切り詰めても、国保料6万8千円が払えない、6人家族を苦しめる国保の重い負担。徴収のためなら違法な差押えまでやる。」と述べている。ここに国保税が非常に高い現実があるがどう考えるか。



市長 市長会でも、国の負担率を引き上げる要望をしている。

有機農業について

議員 千葉県いすみ市は、学校給食に有機米を使い始め、僅か4年で全量42トンを賄うまでになった。現在は有機野菜類まで広がっている。田舎暮らしを取り上げた月刊誌では、住みたい田舎ランキングで10年連続トップを維持している。その結果、非常に有名になり、有機米の販売先にも困らず、移住者も増え、活性化している。このように学校給食をきっかけに良い方向にドンドン進んでいる。大規模化は中山間地では難しいと考えるが。

市長 有機農業には様々な知見が必要であり、農協や農業従事者と議論していきたい。

水道事業の現状と課題について、市水の給水エリアは

市長 旧八女市全域と旧立花・上陽・黒木・星野の一部。世帯数の割合は65%

映像配信
サイト



議員 飲料水改善事業補助金とは。

局長 上下水道整備区域外で、井戸のボーリングや水質悪化改善のための浄水器設置等に対し、補助率は事業費の2分の1で、1戸当たり限度額20万円を補助するもの。

議員 物価高騰により工事費が増大する中、補助金の増額の考えは。

市長 必要に応じて、見直しを図りたい。

災害時に安心できるトイレ環境について

議員 下水道整備区域内マンホールトイレ(※)を設置する考えは。

課長 その有効性及び優先度について、研究していく。

議員 災害時のトイレ環境について、市長の考えは。



子ども用ミニ便座とは、大人用トイレを子どもの大きさに合わせ、落下防止や恐怖心を払拭し、使用しやすくする補助便座

市長 トイレのバリアフリー化や快適性の向上を含めた災害対策を充実していく。

資源ごみの分別回収について

議員 プラスチックごみの分別回収を、限定的にモデル地区で導入できないか。

課長 モデル地区の先行実施は、市民周知の機会や課題の洗い出しにも効果的で有効的と考える。

※マンホールトイレ
下水道整備区域において、災害時にマンホール上に簡易なトイレ設備を設けて使用するもの。

昨年6月定例会の一般質問で提案していた指定避難所への子ども用ミニ便座25台の配備が完了しました！



映像配信
サイト



上陽支所の移転複合化の進捗状況は

市長

利便性や防災拠点としての充実を図り、施設の集約化・複合化を進める



昭和35年建築の上陽支所

議員 施設の建設場所や計画の進捗状況は。

課長 場所は旧上陽保健センター跡地を活用する方針である。複合施設に向けた実施設計業務を令和8年度予算に計上している。

議員 複合施設の機能は。

課長 上陽支所や公民館、図書館、JAを取り込んだ複合施設を考えており、地域の居場所づくりにも努めていきたい。

議員 支所機能の充実の考えは。

課長 企画政策課に中間政策係を新設し、各支

所の課題を、本庁と支所が一緒になって解決していくための組織体制の強化を図る。

山間部の道路管理について

議員 人口減少が進む山間部の道路管理は、この先どうするのか。

課長 現在は施設管理班や委託業者が対応している。加えて道路維持に関する新規の予算を計上している。

議員 生活道路に倒れそうな立木の処理に、森林環境税や森林環境譲与税を財源とする補助金は使えないのか。

課長 山林関係の補助金の活用については、今後関係課と情報を共有して検討していきたい。

姉妹都市、友好交流都市、連携協定等交流都市との交流事業の今後は

市長

地域の知名度向上や経済産業面に重点を置きたい



映像配信
サイト



平成27年建築の岩戸山歴史文化交流館いわいの郷

議員 都市交流事業の今後の展望は。

市長 シティプロモーションや輸出促進の観点から、広く八女市の魅力を発信し、経済的な発展につながるよう交流自治体を含む様々な企業や団体と多方面で交流に取り組んでいく。

議員 林野火災の対策は。

市長 森林法に基づき火入れ許可に関して、延焼防止処置等の個別指導を徹底することで作業の安全確保と火災の未然防止に努める。

議員 消防団員の減少と高齢化対策は。

市長 少子高齢化による人口減少が進む中で、必要な人員や機材を確保することは重要である。消防団への加入促進はもとより従来の枠組みを超えた相互補完や効率的な組織運営、さらには機能の充実を図る。また、近隣市町との広域的な連携体制の構築を推進し地域全体の消防力の維持・強化に万全を期していく。

議員 岩戸山歴史文化資料館と南北朝の歴史的資料の活用は。

教育長 岩戸山古墳をはじめとする史跡や南北朝時代の資料や文化財など、長い歴史の中で積み重ねてきた多彩な魅力を観光や地域活性化につなげるため効果的な情報発信を進める。



映像配信
サイト



公立病院の今後の財政負担について どう考えるか

市長 構成自治体の広川町と共に対応し、自助努力を
促しながら協議していく

議員 公立八女総合病院
企業団は、10億円の借入
れを八女市と広川町に正
式に申し込んだ。病院議
会において、広川町長と
議長は、この説明内容で
は議論の余地もないと、
実質借入れ拒否とも取れ
る発言があったが、市長
の考えは。

市長 広川町側の発言は
承知している。私の認識
としては、未来永劫貸し
出せないではなくて、もっ
と実効性のある再建計画
を含めた経営計画をしつ
かり立てるように指示が
あったものと考ええる。本
市もしかるべき相談に乗
りながら、企業団の再建
計画の再策定や見直しを
見守っていく。



公立八女総合病院

県道久留米立花線の橋梁架け替えは、 いつ頃完成予定なのか

市長 現在、県から完了予定については示されていない

議員 架け替えに対する
説明会は何回行われたの
か。

市長 路線が通過する3
つの行政区において、そ
れぞれ2回の合計6回行
われた。

議員 説明会で出席者よ
り発言された意見や要望
はどのようなものがあつ
たのか。

市長 主な意見や要望に
ついては事業のスケジュ
ールに関するものや用地
買収、物件移転補償に関
するもの、内水と外水に
関するもの等があつたと
認識している。

議員 なぜ下流域に対す
る説明はなかつたのか。

市長 地元説明会につい
ては、路線が通過する行
政区を対象に行つたと県
より回答があつた。

議員 単なる道路改良工
事ではなく、橋梁架け替
え工事により橋が約2
メートル上がると流量が
増え、当然堤防に対する
圧力も増加するのは。
市長 指摘の箇所につい
ては、建設課と私も現地
を確認したい。今回の橋
梁架け替え工事により、
下流域が負の影響を受
けることがないよう、しつ
かりと対策は協議してい
きたい。

外水氾濫
河川の水位が上昇し、堤防を
越えたり破壊するなどして堤
防から水があふれ出すこと。



津江付近から矢部川上流を望む



映像配信
サイト





映像配信
サイト



鹿による被害状況の把握はできているのか

課長 令和6年に初めて被害報告があり、対策を進めている



議員 イノシシと同様に、鹿の被害防止や捕獲のための措置はあるのか。

課長 被害防止策として、苗木のツリーシールドの設置をしている。また、鹿対策用の高さのあるワイヤーメッシュ柵などの防止対策を進めていく。

議員 有害鳥獣の捕獲後の処理の考えは。

市長 ズビ工肉を中心として資源の有効活用と共に、豚熱対策を前提に民間施設を利用した焼却処分を検討していく。

プレミアム付き商品券について

議員 プレミアム付き商品券の発行から16年余りが経ち、様々な課題が表れてきているが、市の考えは。

市長 プレミアム率や発行金額、事業者負担などの課題に対して、商工会や商工会議所などの事業者と政策効果が発揮されるような在り方について引き続き議論をしていく。

携帯電話の電波状況について

議員 八女東部の山間地域では、居住地でも携帯電話がつかない地域がある。市は状況を把握しているのか。

課長 令和4年に一定の不感地域対策は整ったという見解は出たが、居住地外では、まだ不感地域がある。引き続き通信会社には社会的貢献を果たすよう求めていく。

水道の未整備地区における井戸掘削費など飲料水改善事業補助金の増額改定を

市長 上水道との負担の平準化を踏まえ、補助金の在り方を検討していく



映像配信
サイト



魅力ある教育・子育て環境の構築について

議員 本市の自然環境や特性を活かして、子育て世代に選ばれる魅力ある環境の整備が必要である。本市には県営公園等の施設がないので、豊かな自然環境を活かした全天候型自然公園や木工・木材遊具体験交流施設、川の生き物体験学習施設など、単なる公園にとどまらない県営施設の誘致に取り組めないか。

市長 現在、行っている公園整備に関する調査を早急に取りまとめ、今後の整備につなげるとともに、県営施設の誘致も選択肢の一つとして要望していく。

安心・安全な飲料水の供給確保について

議員 全国で水道管の老朽化に伴う事故が発生している。本市の水道管の更新や耐震化はどのようになっているのか。

局長 現在の耐震化率は36・4%であるが、管路更新時に耐震性能を有する管を埋設していく考えである。管路の布設時期や重要度により優先順位を定め、主要な管路から計画的に耐震化を進めていく。

水さでみ
を！
源の市、森
の水源女な
命の水八女
は知るるで
水ですあな
守り育て守



映像配信
サイト



公立八女総合病院の経営安定化計画も踏まえた地域医療の現状と課題は

市長 旧町村地域は医療機関数が少なく、旧八女市と医療環境が大きく異なる

議員 開業医の閉院等に伴う医療提供の考えは。在宅医療の重要性が高まる中、閉院する診療所等を補完する公立八女総合病院等の果たす役割がより重要となる。

議員 高齢者のがん患者が増え続けており、今後緩和ケアも増加すると思われるが在宅支援療養病院の「みどりの杜病院」の状況は。

課長 令和5年度の新規訪問診療は138件、在宅看取りは117件と公表されている。

長引く物価高騰による市民生活への影響について

議員 生活困窮者への対応は十分なのか。

市長 国の非課税世帯への給付金の支給や、相談

議員 支援体制の強化、さらに社協のフードバンク事業への支援等を行っている。

議員 子どもを取り巻く生活への影響や十分な食事は摂れているのか。

市長 生活を下支えする支援に取り組むと共に、こども家庭センターが相談窓口となつて関係機関と連携して対応していく。

地域猫への対応について

議員 民間団体での不妊去勢手術、譲渡会、一時保護活動等は市を挙げて取り組むべきでは。

市長 動物との共生を図るため、今後も支援団体と地域住民、行政の連携強化に努める。



支援団体による地域猫の一時保護の状況

八女茶の伝統を守りつつも、有機農業と多様な挑戦の在り方の考えは

市長 伝統を守り、変革を取り入れ、多様な挑戦が生まれるよう支援する

議員 有機農業や環境配慮型農業をどのように位置づけているのか。

課長 有機農業は食の安全性を高めるだけでなく、環境保全や持続的な農業を図る上で重要な取り組みと考える。

議員 有機JAS認証農家数はわずかであり、拡大には課題も多い。一方で需要は確実に存在しているが、推進の考えは。

課長 付加価値向上や安定的な販路の確保等に力点を置きながら推進する。

議員 市場づくりのため、見える化や独自基準の整理に取り組む考えは。

課長 志ある農家への支援など、農産物の高付加価値化を推進し、販売方法については生産者などと協議していく。

議員 本市には有機農業や自然栽培を実践する人がおり、新しい挑戦が生まれている。有機農業の小規模な実践拠点の整備や支援を行い、さらに人材育成や交流人口拡大につなげる考えは。

市長 これまでの農業の伝統は守りつつも、時代に応じた変化が求められ、新しい挑戦に光を当てることは重要である。小規模な実施拠点の取り組み等も研究し、有機農業を選択肢の1つとして推進していく。



映像配信
サイト





映像配信
サイト



八女・筑後結婚サポートセンターの課題をどのように考えているのか

課長 会員数が伸び悩んでいる状況であり、会員増の方策に取り組む



「八女・筑後結婚サポートセンター」が入居している筑後市交流センター（チクロス）

議員 SNSを活用して、結婚サポートセンターの八女市在住の会員を増やすべきでは。

課長 DXを通じて、幅広く周知できるような手法を検討する。

議員 結婚サポートセンター以外の婚活に対する支援は。

課長 新しい事業として、周辺に知られにくい出会いの場を創出するメタバースマッチングのイベント事業を計画している。

ふるさと住民登録制度（※）は

議員 ふるさと住民登録制度の創設を含めて、関係人口に対する見解は。

市長 関係人口の定義は国も曖昧であることに問題意識を持って、ふるさと住民登録制度が創設されると捉えている。国の検討状況を注視しながら呼びかけがあれば積極的に活用する方針である。

議員 健康寿命を延ばし地域社会・経済活動の活性化に

議員 健康寿命の延伸に対する見解は。

市長 高齢化が進む中で今後の持続的な発展、まちづくりに当たっては、健康寿命が延伸すれば、高齢化が課題でなくなることを含めて非常に重要なことである。延伸するための方策は、最新の研究、デジタル科学技術の進展等に依拠してしっかり考えて検討していく。

※ふるさと住民登録制度
居住していても住民として登録できる制度で、その自治体から情報提供や行政サービスが受けられる。

花下主茂



映像配信
サイト



太陽光発電事業に関する制度設計の必要性について、市の認識は

市長 ガイドラインではなく、条例による制度設計が妥当だと判断している



行政DXの推進について

議員 行政システム標準化（※）による費用負担が増加する中、効果とのバランスをどう考えているのか。

室長 国が提示する長期的なメリットを最大限に享受できるように、着実に移行政業を進めていく。

議員 運用費の増加に対して、国への財政支援の要望は行っているのか。

室長 全国の自治体が共通して抱えている課題であり、強く要望している。

議員 DXでの単なる効率化ではなく、業務構造の見直しが必要では。

室長 BPR（※）により業務の在り方そのものを見直し、対面業務など人でないといけない業務へ振り向けていきたい。

太陽光発電と地域環境について

議員 制度設計における具体的な論点は何か。

課長 地域との調和を前提に、事業者責務の明確化や理解を得られるような説明責任のあり方を検討している。

議員 どのレベルの実効性を目指しているのか。

課長 規制型ではなく、関係法令では定められていない部分を制度設計の中に盛り込む補完型という形で制度構築を目指している。

※行政システム標準化
地方公共団体の基幹システムの統一化を図る国の政策。

※BPR
仕事の進め方を一から見直し、無駄や重複を省きながら、より効率的で質の高い業務へと作り直す手法。

避難所指定体育館(総合体育館、三河小、岡山小、みさき学園)空調設置の考えは

古賀邦彦



映像配信
サイト



教育長

避難所機能の強化、耐災害性の向上のため、計画的に空調設置を進める



三河小学校体育館(避難所指定体育館)

議員 渇水対策について

議員 渇水状況が悪化した場合、給水車等の手配が間違いなくできるのか。

局長 福岡県や日本水道協会としっかり連携して対応する。

議員 事態の悪化を想定し、災害用井戸の総点検や井戸の開設場所を住民に周知する準備はできているか。

課長 災害用井戸の活用準備及び、開設する施設情報の住民周知の準備も行っている。

小中学校・義務教育学校体育館の空調設置の考えは

教育長 教育条件の公平性を考慮し、実証を行うことで空調設置を進めていく。

小中学校・義務教育学校トイレの令和8年度改善計画は

教育長 トイレの洋式化率向上を含めた改善を進める。令和8年度は、小学校2校のトイレの一部改修と中学校1校のトイレの全面改修及び増設を行う。

高齢者運転免許自主返納支援事業について

議員 利用者を運転免許証を有しない同居家族にも拡大できないか。

市長 事業の目的や趣旨により、利用者は返納者本人に限定している。今後も自主返納しやすい環境づくりのため、支援方法について検討を続けていく。

生徒ができています。児童が実証も体育の授業で使っています。夏場でも空調が心地よい状況です。

豊かな森林資源を活用するために、どのように取り組んでいくのか

堤康幸



映像配信
サイト



市長

八女材の利用促進や再造林の支援、路網整備・担い手育成に取り組む



主伐後、再造林され育成中の林地

議員 森林経営管理制度に基づく調査の現状は。

課長 県が実施した航空レーザー測量を基に、森林資源解析業務が今年度で終了する。令和6年度より順次、意向調査を進めている。

議員 現時点での傾向は。

課長 調査対象者489名の意向では、林業事業体への管理委託を希望する方が約半数である。

議員 森林経営の適・不適はどこで判断するのか。

課長 八女市林業振興対策協議会の中の専門部会の意見を聞いて進める。

議員 森林資源解析とは。地図情報システムが基になっている。地形

や林道・作業道また樹種等の解析もできている。

議員 森林経営管理のためには道路が必要との現場の声を聞くが、考えは。

課長 林業振興に道路網の整備は必要不可欠であり、森林経営管理制度を進めて行く中で十分協議していく。

中山間地域の優良農地の保全策について

議員 保全のための手段は。

課長 園地情報や規模拡大の需要などを十分整理して仕組みを作っていく。また、園地再生のために、農地中間管理機構の事業も組み合わせて取り組む。